

2025 年 12 月 5 日 第 3535 回例会

於： 横須賀商工会議所



<点 鐘・開会> 12:30 山 下 会 長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 朴 裁潤 様

<ビジター紹介> *財団補助金・VTT委員会 委員長 吉 野 龍 彦 様(平塚湘南RC)
副委員長 中 村 太 郎 様(相模原RC)

*福 嶋 義 信 様 (横須賀北ロータリークラブ)

<誕 生 月 祝> *高 橋 隆 一 (S.36) *梁 井 康 市 (S.36)

*三 井 英 夫 (S.42) *井 上 智 史 (S.43)

*鈴 木 之 一 (S.33) *角 井 駿 輔 (S.60)

*臼 井 健 (S.48) *宮 島 才 一 (S.24)

各会員

<入 会 月 祝> *田 邊 一 三 *澤 田 菊 江 *前 田 長 生 *Enora Rogers

*杉 浦 浩 子 *真 野 俊 和 *

各会員

<会 長 報 告> *ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ 12月1日より1ドル154円⇒156円

<委員長報告> *職業奉仕委員会 曾我委員長より地区職業奉仕セミナー 報告

*雑誌委員会 江口副委員長よりロータリーの友12月号

*出席委員会 森委員長より11月出席率報告 11月平均出席率71.60%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
11月14日	113名	97名	52名	45名	15名	67.68%
21日	114名	103名	72名(1名)	31名	5名	74.04%
28日	114名	104名	66名(3名)	38名	10名	73.08%

<米山奨学生への奨学金の授与>

<幹 事 報 告> *年忘れ家族会会費徴収について

*例会終了後第6回理事役員会 開催

<出 席 報 告> *出席委員会 森委員長から12月5日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
114名	102名	69名(2名)	33名	4名	71.57%

メイクアップ: 浅葉、堀川、真野 各会員 親睦旅行参加 小林(一) 会員 理事役員会出席

<ニコニコ報告>

・吉野龍彦様(平塚湘南RC)、中村太郎様(相模原RC) 本日はよろしくお願ひします。

・福嶋義信様(横須賀北RC) お世話になります。

・三 役 地区財団補助金・VTT委員会 委員長 平塚湘南RC 吉野龍彦様、同委員会
副委員長 相模原RC 中村太郎様、横須賀北RC 福嶋義信様、米山奨学生 朴 裁
潤さん、本日はようこそお越し頂きました。内容盛りだくさんで、少々慌ただしいかも
しれませんが、どうぞ私どもの例会をお楽しみください。

・前田ガバナーノミニー 地区補助金VTT委員長 吉野様、副委員長 中村様、財団ではお世話になり
ました。今日はお忙しいところを有難うございます。

・小 澤、八 巻、高橋 豊、田 邊、小保内、角 井、齋藤 眞、
佐久間、石 川、齋藤 眞、新 倉、濱 田、岡田 豊 各会員

米山奨学生 朴 裁潤様、財団補助金・VTT委員会 委員長(平塚湘南RC) 吉野龍彦
様、副委員長(相模原RC) 中村太郎様、横須賀北RC 福嶋義信様、ようこそお越し
くださいました。本日もよろしくお願ひします。

- ・高橋 隆、井 上、角 井、宮 島 各会員 誕生月祝いとして
- ・田 邊、澤 田、前 田、Enora、杉 浦 各会員 入会月祝いとして
- ・越 川 会員 誕生月祝いとして（11月）
- ・兼 城 会員 入会月祝いとして（11月）
- ・三 役 地区財団補助金・VTT委員会委員 高橋隆一会員、本日の卓話宜しく願いいたします。今横須賀ロータリークラブでホットな話題の「チトワンRCとのプロジェクトへの財団補助金」のお話。しっかり勉強させていただきます。
- ・大野 健、八 巻、秋 葉、加藤 健、植 田、江 口、江 沢、松本 朋、池 田、田 邊、前 田、権 田、竹株、小山 健、齋藤 健、小山 健、濱 田、杵 渕、三 堀、波 島、兼 城、澤 田、宮 島、根 岸、杉 浦、藤 村、飯 塚、齋藤 健、齋藤 健、八 木、岡田 健、徳 永、Enora 各会員
本日は「チトワンRCとのプロジェクトへの財団補助金の関わりについて」の卓話です。財団補助金・VTT委員会委員高橋隆一会員よりお願いいたします。
- ・高橋 隆 会員 本日、財団について卓話をさせていただきます。会長職より緊張しております。
- ・5番テーブル小佐野マスター、権田サブマスター 12月1日(月)、5番テーブルミーティングを鐵丸にて開催いたしました。お蕎麦料理に心が温まりました。ご参加いただいた山下会長、比護SAA、椿副SAA、テーブルメンバーの皆様ありがとうございました。小澤会員にはバスの手配からお土産まで頂きまして、お礼を申し上げます。
- ・加賀本、小山 健、柴 田、田 中、長 尾、濱 田 各会員
5番テーブルミーティング、美味しいお料理と楽しい会話で、かなり盛り上がりました。小佐野マスター、権田サブマスター、小澤会員お世話になりました。
- ・梶 木、高橋 隆、角 井、齋藤 健、濱 田、波 島、三 井 各会員
本日12月5日は国際ボランティアデーです。1985年に国際連合総会において、ボランティア活動の啓発を目指して制定されました。本日の例会内容にピッタリですね。
- ・木 村、石 田、松 川、荻 山、笠 木、比 護 各会員
寒さも本格的になってきました。全国の秋刀魚の水揚げは11月末現在で前年比58%増の6万1269トンを超えたそうです。小ぶりの物が多いですが、脂ののっている秋刀魚は美味しいですね。

＜年次総会＞ ＊第1号議案 2027～2028年度会長ノミニー選出の件：瀬戸 映男会員
 ＊第2号議案 2026～2027年度理事役員選出の件
 ・会長：渡邊 磨 ・会長エレクト：瀬戸 映男 ・副会長：齋藤 秀人
 ・幹事：八木 達也 ・SAA：比護 友一 ・会計：鷺尾 精一
 ・理事：植田 威 ・理事：勝見 慎一 ・理事：兼城 毅
 ・理事：鈴木 之一 ・理事：小山美智恵 ・直前会長：山下 和男
 ・副幹事：小山 陽生 ・副SAA：権田 理司 ・監事：三堀 孝夫
 各会員
 第1号議案、第2号議案は共に満場一致で成立。

＜ラーニングミーティング＞

「チトワンRCとのプロジェクトへの財団補助金の関わりについて」

地区財団・ポリオ推進委員会委員 高 橋 隆 一 会員

ロータリーはポール・ハリス氏が、少年期に感じた友愛の精神を再現したいと考え、1905年2月23日、友人3人と世界初のロータリークラブ「シカゴ・ロータリークラブ」を設立しました。ロータリー財団は、第一次世界大戦のさなか1917年に当時の国際ロータリー会長であったアーチ・クランフが「ロータリーが基金を設け、世界的な規模で慈善、教育、社会奉仕の分野でよいことをしようではないか」と提案したことに始まります。この提案により、ロータリーの基金が創設されました。カンザスシティ・ロータリークラブから最初の寄付として26ドル50セントを受領しました。ロータリー財団は、「世界で良いことをしよう」という標語のもと、ロータリー会員が人々の健康状態の改善、質の高い教育の提供、環境保護、平和の達成といった活動に取り組むための資金を提供しています。この使命の達成のため、会員からの寄付金を募り、社会奉仕に貢献することが財団の重要な役割です。ロータリー財団の基盤は会員皆様からの寄付金（年次基金）です。年次基金は今を支える寄付です。ロータリアンは通常シェアでの寄付がメインですが寄付を指定することもできます。当地区では会員一人年間200ドルを目標としています。



補助金の種類としては大きく分けて

・年次基金(年次寄付)

- ①シェア:DDF（地区財団活動資金）とWF（国際財団活動資金）にシェア配分されます。
- ②WF 国際財団活動資金: グローバル補助金に上乗せや財団プログラムの資金に活用
- ③重点分野: 7つの重点分野(平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境の保護)のいずれかを指定することが出来ます。
- ④ロータリー災害救援補助金:災害救援活動や復興活動に生かされます。
- ⑤ポリオプラス:ポリオ根絶運動を支援します。

他にも奨学金制度: グローバル補助金奨学金やロータリー平和フェローシップなどもあります。

2023-24年度会計の年次基金の収益率は4.9%でした。過去5年間年次基金は年間平均3.2%の収益を生み出しています。通常皆様に寄付していただくシェア寄付金の配分として国際財団活動資金(WF)が47.5%、地区財団活動資金(DDF)が47.5%を活用しています。松下年度は2023年度(佐藤ガバナー年度)の寄付額から成り立っています。年次基金430,917ドルが2780地区に配分となり、DDF、WF共に204,686ドルが基本となります。ここに恒久基金の運用益の50%を加えた額が地区財団の活動費となります。新たに恒久基金という単語が出て来ました。こちらは寄付された額その元本に手をつけず、運用益のみをプログラムに活用することで、将来にわたってロータリーの活動を支えていく仕組みです。当地区では地区として年間100,000ドル以上を目標としています。ロータリー財団は、2025年6月30日現在で20億5040万ドルあり過去5年間平均6-7%の運用益を出しています。(ロータリー財団の一般管理費は全体の5.18%)横須賀ロータリークラブからは昨年度、年次基金を245ドル(28,002円)200ドルの割り当てを45ドル超えています。また恒久基金として1,000ドル(森会員)、冠名基金として10,000ドル(長尾会員)が寄付して頂きました。有難うございます。ここで先日来訪されたネパール、チトワンロータリークラブとの水道施設プロジェクトの資金計画について見ていきましょう。クラブからの現金拠出金としてチトワンRCから3,000ドル+手数料150ドルの3,150ドル、横須賀RCから3,500+手数料175ドルの3,675ドル拠出されています。続いて、地区財団活動資金(DDF)よりチトワンRCが所属する第3292地区より3,500ドル、横須賀RCが所属する当第2780地区から15,430ドルが拠出されます。最後に国際財団活動資金(WF)からDDFの8割が上乗せされますので、第3292地区の3,500ドルと当第2780地区の15,430ドルの合計18,930ドルの8割の15,144ドルが拠出されます。予算合計としては現金合計の6,500ドル、DDF合計の18,930ドル、WF合計の15,144ドルの40,574ドル(150円として600万円規模)になります。内容につきましては昨年度、今年度と国際奉仕委員会を中心に例会で説明していましたので割

愛させていただきます。寄付の方法としてもロータリークラブを通じて以外にも、ロータリーカードを使うことにより0.3%が自動的に寄付されます。またマイロータリーよりオンラインで寄付が出来ます。ここで大事なのはクラブに年間寄付した金額の報告をお願いします。会員個人の情報です。是非お願いします。税制上の優遇措置もございます。個人に表彰もございます。またクラブの表彰にもなりますので皆様のご協力をお願いします。

ロータリー財団委員会では皆様の貴重なご寄付を活用して

1. 地区補助金、グローバル補助金を使った素晴らしいクラブ奉仕プロジェクトが行われますようにクラブの皆様にご協力いただき一緒に活動しています。
2. また奨学金制度を活用して将来に向かって夢のある若者、青少年の育成に努めております。
3. 世界中のロータリークラブが目指すポリオの根絶にも活用されます

横須賀クラブとしても財団補助金の活用でフィリピン、セブ島への成功事例もあり、新しいエリアへの活動を会員のアイデアを基に、教育、人道的支援に地区の補助金を有効活用し超我の奉仕に努めてロータリーの活動を楽しんで参りましょう。 ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 山下 会長

週報担当 松川 太郎